

一関市立図書館振興計画（案）用語解説

（あ行）

ICタグ＝電波を受けて働く小型の電子装置。書籍（資料・AVメディアを含む）にICタグを貼付け、運用する事により図書館における様々な業務の効率化が可能。

SNS＝Social Networking Service（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）の略。登録を許可された会員同士がつながり、交流するためのウェブサイト。またはその機能を提供するサービス。「X(旧 twitter (ツイッター))」や「Facebook (フェイスブック)」はその代表。

SDGs＝Sustainable Development Goalsの略。先進国・途上国すべての国を対象に、経済・社会・環境の3つの側面のバランスが取れた社会を目指す世界共通の目標として、2015年9月の国連サミットで採択された。貧困や飢餓、水や保健、教育、医療、言語の自由やジェンダーなど、人々が人間らしく暮らしていくための社会的基盤を2030年までに達成するという目標になっていて、17のゴール（目標）とそれぞれの下により具体的な169項目のターゲット（達成基準）がある。

オンラインデータベース＝回線を通じて利用できるデータベース。利用者はパソコンなどの端末機器で必要な情報を検索することができる。

（か行）

キャリアアップ＝より高い専門的知識や能力、技術、資格などを身につけること。経歴を高くすること。

郷土資料＝図書館の所在する地域や自治体に関する資料。地方自治体が刊行した資料、地域内で活動する団体・個人が刊行した資料、文学やビジネスなど地域をテーマとして捉えている資料、古文書や古地図、姉妹・友好都市関係にある地域の資料などがある。

グローバル化＝情報通信技術の進展、交通手段の発達による移動の容易化、市場の国際的な開放等により、人、物材、情報の国際的移動が活性化して、様々な分野で「国境」の意義があいまいになるとともに、各国が相互に依存し、他国や国際社会の動向を無視できなくなっている現象。

国際リニアコライダー（ILC）=International linear Collider（インターナショナル・リニア・コライダー）。全長 30km の直線状の加速器をつくり、現在達成する最高エネルギーで電子と陽電子の衝突実験を行う計画。宇宙初期に迫る高エネルギーの反応を作り出すことによって、宇宙創成の謎、時間と空間の謎、質量の謎に迫ろうとするもの。岩手県北上山地が有力な候補地になっている。

（さ行）

雑誌スポンサー事業=図書館が所蔵する雑誌の最新号カバーに広告を掲載し、事業者の広告媒体として活用してもらう事業。1 タイトルあたりの年間広告掲載料は図書館の利用実態によって異なる。

市民センター=地域の生涯学習の拠点であった公民館の機能に、地域協働体と地域づくりの拠点としての機能を加えることで、生涯学習に係る学びと地域づくりを一体化し、地域の特性を活かした地域づくりを進めていくための施設。平成 27 年度に公民館から移行したもの。

専門職員=司書、司書補の資格を有する職員。

（た行）

大活字本=大きな活字で印刷された図書。大型活字本、拡大図書ともいう。

多文化サービス=図書館サービスを行う上で、その対象者や奉仕地域内の文化的多様性を反映させた図書館サービスの総称。民族的・言語的・文化的少数者（マイノリティ）と同時に、多数者（マジョリティ）も含む地域の全ての住民にとって、相互に民族的・言語的・文化的相違を理解しあえる資料や情報の提供を含む。

点字資料=点字で書かれた図書。点字は視聴覚障がい者が手で触れて読むための文字。

電子資料=情報の蓄積、流通に電子的なメディアを用いた資料。メディアの記録形式からはデジタル資料ということもできる。電子資料は、情報を記録メディアに固定して物流システムで利用者に配送するパッケージ資料と、情報を通信システムで利用者に伝送するネットワーク系資料に大別される。

読書指導員=市民の図書館活動に対する助言指導をより充実させ、図書館活動の振興を図るため配置している会計年度任用職員の司書。

読書普及員＝学校図書館を基本に活動し、読書環境の整備、学習用図書・学校図書館の図書の選書、読書活動の補助などを行う会計年度任用職員。

(は行)

フロアワーク＝カウンター以外のサービスフロアで行う利用案内、読書案内、レファレンスサービス、読み聞かせ、ブックトーク、その他の利用者サービスの総称。計画的に職員が館内を巡回し、利用者との接触機会を増やす効果がある。

(ま行)

マルチメディアD A I S Y＝テキストに画像や音声データを同期させたアクセシブルな電子書籍資料。

(や行)

ヤングアダルト資料＝おおむね12歳から18歳(中学生から高校生の青少年)を対象とする資料。

(ら行)

L A N＝Local Area Network (ローカル・エリア・ネットワーク)の略。同一構内または同一建物内における情報通信網。パソコンやプリンターなどを相互接続し、情報の送受・処理を行う。ケーブルを配線する「有線L A N」と、電波や赤外線により無線で通信する「無線L A N」がある。また、駅や空港などの場所で無線L A Nによるインターネット接続環境を提供し、無線L A N搭載のパソコンやスマートフォンなどが利用できるサービスを「公衆無線L A N」という。

リライト資料＝L Lブックともいう(L Lはスウェーデン語で「やさしく読める」の意の略語)。知的障がい者や発達障がい者のために、やさしくわかりやすい言葉で短く書き直した資料。

レファレンスサービス＝reference service。参考業務、参考調査などと訳される。何らかの情報を求める利用者に対して、図書館職員が情報あるいは文献を提供するサービスと、あらかじめ情報の入手が容易に、かつ効果的になるように図書館資料を整備し、利用の環境を整える活動をいう。